

原発最大限活用政策のもと、柏崎刈羽原発再稼働の動きが本格化する今 「原発なくしたい！」のあなたのねがいは 9・24なくそテ原発柏崎大集会へ！

日本の原子力政策、これでいいのか
60年超の老朽原発の運転を可能にし、新增設まで認める原発推進法。日本のエネルギー政策について深く学び行動していきましょう。



東電に原発を再稼働させていいのか

テロ対策上の不備が相次いで発覚し、事実上の運転禁止命令が出されている東電ですが、その後も不祥事が相次ぎ、最近になっても侵入者を確認する照明不点灯が明らかになりました。一方で、規制委による審査は進み、東電は再稼働手続きを本格化させ再稼働に向けた動きを強めており、予断を許さない状況です。

汚染水(アルプス処理水)放出しているのか

トリチウムだけでなく、(基準値以下に処理するとはいえず)その他の放射性物質を処理しきれない「処理水」を水で薄めて大量に海に放出。毎日百トンずつ、今年中にタンク30基分が放出されるとのことですが、その間に20基分の新たな汚染水が発生します。(用途が立っていない)廃炉完了まで何十年も放射性物質を流し続けても環境に影響がないなどと言っているのでしょいか。他の処理方法への変更と地下水流入を止める根本対策が求められています。

*バス利用の有無にかかわらず、参加される方は事務局にお知らせください。

「どうする？ 柏崎刈羽原発の検証総括委員会」

「みんなで語ろう！ 池内了さんと対話集会」が

8月27日にハイブ長岡で開催されました

主催した市民検証委員会@長岡代表の小山洋司さんが挨拶。衆議院議員米山隆一さんから連帯の挨拶の後、前検証総括委員の佐々木寛さんのお話。「原発汚染水に対してマスコミの姿勢が問われる。市民一人一人が考え、何が問題かを市民の意見として池内さんに伝えていかなければならない」と話された。

池内了さんが講演。県は検証総括委員会を池内委員長との意見の対立から任期切れをもって解任し、今後検証結果は県が事務的にまとめるとしたとの経緯を説明。その上で県との主な対立点について次のように述べられた。

☆池内「県民の意見を検証総括に反映させる為にタウンミーティングを開きたい」 ↓ 県「県民へは検証結果の報告のみで済ませる」

☆池内「検証総括委員会で柏崎刈羽原発の安全性に対しての検証をすべき」 ↓ 県「今回の報告書は福島原発事故の検証に留める」

☆池内「柏崎刈羽原発の安全性や東電の発電事業者としての適格性の議論をしたい」 ↓ 県「各検証委員会から出された報告書に矛盾がないか点検・整理を事務的に行うのみで良い。東電の適格性は今後の技術委員会に委ねる」



池内さんは、「このままでは柏崎刈羽原発の安全性を議論する場がない。『池内特別検証報告』を提示し、県民が柏崎刈羽原発の問題を議論する為の材料としてパンフを早急に出す。さらに『市民総括委員会』を発足させ、県民との対話集会在各地で開き意見・要望をまとめて『市民検証総括』を作成して普及し、原発再稼働させない運動を盛り上げていく」と訴えられた。

講演後のグループ討論では、ヨウ素剤の配布、大雪時の避難、活断層等について活発に質疑・討論が行われた。

原発問題は他人事ではない。付けを次世代に回してはならない。今、行動しなければと心に刻みました。(広井)

10月の「再稼働 NO! アオーレ前11日行動」は10月11日(水)16時～16時半です。ご参加を！

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第138号 2023年9月11日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707